

三重大学大学院
工学研究科博士前期課程

学 生 募 集 要 項

令和7年7月実施

外国人留学生特別選抜
(国費留学生、独立行政法人 国際協力機構長期研修員)

令和 7 年 1 0 月入学

令和 7 年 7 月

【 入 学 試 験 日 程 表 】

内 容	日 程		掲載ページ
障害等のある入学 志願者との事前相談	令和7年6月2日(月) まで		8 ページ
入学資格審査申請期間	令和7年5月19日(月) から 5月23日(金) 17時まで		7 ページ
入学資格審査結果通知	令和7年6月2日(月)以降		7 ページ
出 願 期 間	令和7年6月9日(月) ～ 6月13日(金) 17時まで		4 ページ
選 抜 試 験	オンラインによる 口述試験及び面接	令和7年7月2日(水) 又は 7月3日(木)	6 ページ
合格者の発表	令和7年7月11日(金)		6 ページ
入 学 手 続	令和7年 10月入学	令和7年9月16日(火) ～ 24日(水)	7 ページ

「注」1. 自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等によっては募集要項に記載のある出願要件、出願期間、試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。変更のある場合は工学研究科webサイトにて掲載する予定です。三重大学大学院工学研究科webサイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/> をご確認ください。

2. 口述試験及び面接の試験日は、いずれか片方の一日を、受験票送付の際に通知します。

目 次

○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について	2
○ 令和7年度（令和7年10月入学）三重大学大学院工学研究科博士前期課程学生募集要項	
I. 募集専攻及び選抜別募集人員	3
II. 出願資格	3
III. 出願手続	4
IV. 入学者選抜方法等	6
V. 合格者の発表	6
VI. 入学手続	7
VII. 入学資格審査	7
○ 各選抜共通事項	
I. 障害等のある入学志願者との事前相談	8
II. 個人情報利用	9
III. 不正行為の取り扱いについて	9
【三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要】	
IV. 工学研究科組織図(令和7年度5月1日時点)	10
V. 各専攻の紹介（令和7年度5月1日時点)	11
○ 三重大学大学院工学研究科案内図	16

三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

○ このような人を育てます

工学研究科の博士前期課程では、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して、高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。

○ このような人を求めます

- ① 高い志を持ち、高度な専門技術者や研究者を目指す意欲にあふれる人
- ② 工学研究に必要な基礎学力と専門分野における基礎知識を修得しており、高度な専門知識と技能を学ぶために必要な実践、応用及び創造の能力に富む人
- ③ 国際的社会で活躍するためのグローバルな感性と俯瞰的視点に富む人

○ 入学者選抜の基本方針

【学部・修士一貫コース特別選抜】

入学者の選抜は、志望専攻に関する分野のコースに在学し、志望専攻から予備選抜された学業成績優秀者を対象に提出書類の審査と口述試験及び面接の結果を総合して行います。

提出書類の審査及び口述試験にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識を測るとともに、面接にて研究意欲、適性を評価します。

【一般選抜】

入学者の選抜では、学力検査、提出書類の審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接（口述試験を含む）にて研究意欲、適性を評価します。

【外国人留学生特別選抜】

入学者の選抜では、学力検査、提出書類の審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接（口述試験を含む）にて研究意欲、適性を評価します。

【社会人特別選抜】

入学者の選抜では、提出書類の審査、口述試験及び面接の結果を総合して合否判定を行います。

提出書類の審査及び口述試験にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接にて、研究意欲、適性を評価します。

三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について

本研究科博士前期課程では、「大学等で学び得た知識や技能を本研究科でさらに発展・応用させ、より高度で専門的なものにしたいという強い意志を持つ者」、「企業や官公庁、研究機関等で積み上げた経験を生かし、大学院でさらに高度で専門的な研究を希望する者」、「技術先進国である日本で高度な知識や技術を学び、母国や世界に貢献したいという志を持つ者」といった多様な学生を積極的に受け入れ、研究・教育活動をより活性化させる目的で、「学部・修士一貫コース特別選抜」・「一般選抜」・「社会人特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」の4種類の入学者選抜試験を実施しています。

選抜試験により出願資格・入学者選抜方法などが異なりますので、詳細については本募集要項をご確認ください。

**令和7年度（令和7年10月入学）
三重大学大学院工学研究科博士前期課程
学生募集要項**

I. 募集専攻及び選抜別募集人員

専攻名	入学定員	外国人留学生 特別選抜
機械工学専攻	55名	若干名
電気電子工学専攻	45名	若干名
電子情報工学専攻	10名	若干名
応用化学専攻	56名	若干名
建築学専攻	20名	若干名
情報工学専攻	30名	若干名
計	216名	若干名

II. 出願資格

選抜試験により出願資格が異なりますので、出願を希望する選抜試験の出願資格をよくご確認ください。
出願資格を満たしていない場合は、出願書類を提出しても受理されませんのでご注意ください。

外国人留学生特別選抜

○ 外国人留学生特別選抜

独立行政法人国際協力機構（以下 JICA と称する）および先方政府による事前選考で選抜され出願資格証明書を持つもの、もしくは工学研究科における国費外国人留学生優先配置プログラムの審査に合格したもの。

上記のうちいずれかを満たしたものの、かつ出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を取得又は取得見込みの外国人（日本国籍を有しない者）で、下記の①～⑦及び⑩のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日にまでに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による）
〔旧大学令による大学を卒業した者及び文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等〕
- ⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに22歳に達する者

「注」 1. 出願資格⑨による出願を希望する者は、「Ⅶ. 入学資格審査について」を参照してください。
2. 外国人留学生特別選抜で合格し、入学しても、「留学」の在留資格を取得していない場合は、留学生（「留学」の在留資格を有する者）を対象とした各種奨学金や学生寮等への申請資格はありません。

Ⅲ. 出 願 手 続

(1) 出願期間

選 抜 名	出 願 期 間
外国人留学生特別選抜	令和7年6月9日(月)～6月13日(金) 17時まで(日本時間)

(2) 出願方法

入学志願者は、出願期間内に以下の〈出願書類等〉を、郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。（ただし、海外在住者については、(4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。）

〈出願書類等〉

書 類 等	摘 要
ア 入 学 志 願 票	【本研究科所定の用紙】 記入の際は、志願票裏面の「入学志願票記入要領」を参照してください。 合格通知書及び入学手続要項は連絡先等に記載する住所に送付します。
イ 受 験 写 真 票 ・ 受 験 票	【本研究科所定の用紙】 出願前3か月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、無背景、無帽、正面向きのものを、所定の枠内にはがれないように、のりで貼り付けてください。
ウ 入 学 検 定 料	本出願にあたって出願者が用意する必要はない。 ※JICAによる留学生は、出願締切日までにJICAにより三重大学へ支払われる。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生からは徴収しない。
エ 卒 業（見 込）証 明 書 等	
オ 出 身 大 学 等 の 成 績 証 明 書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。
カ 受 験 票 送 付 用 封 筒	長形3号の定形封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の郵便切手を貼ってください。（海外在住者は不要です。）

キ	健康診断書	【本学所定の用紙】 健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。詳しくは下記アドレスで確認してください。 https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/ ※受験するために渡日しない場合であっても出願書類として健康診断書が必要です。
ク	国費外国人留学生であることを証明できる書類	出身大学等の所定のもの。 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生のみ提出してください。
ケ	国籍・在留資格を証明できる書類	旅券の写し等を提出してください。
コ	英語能力を確認できる書類	詳しくは6ページ「※英語の評定方法について」を確認してください。
任意	日本語能力を確認できる書類	JASSO（日本学生支援機構）が実施する日本留学試験の成績や JEES（日本国際教育支援協会）が実施する日本語能力試験の成績、出身大学等が発行する日本語の教科に関する成績証明書等。

（3）出願に関する注意事項

- ① 選抜試験により出願期間・出願書類が異なりますので注意してください。
- ② 郵送により出願する場合は、「**書留郵便**」としてください。なお、出願期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ③ 持参により出願する場合は、9時から17時までを受付時間とします。（土曜・日曜・祝日を除く。）
- ④ 電話・FAX・電子メール等による出願は受け付けません。（ただし、海外在住者については、「（4）海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。）
- ⑤ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ⑥ 外国人留学生特別選抜の志願者は、出願前に希望する指導教員に連絡を取ると共に、当該教員から出願許可を得てください。
- ⑦ 三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、外国人留学生を通じた技術・貨物の流出を防止する目的で、受け入れる外国人留学生に対して、入学時に誓約書の署名・提出をお願いしています。

【参考】安全保障輸出管理（三重大学）

<https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

（4）海外からの郵送を伴う書類の提出について

- ① 海外在住者が提出をするあらゆる書類について、電子ファイルによるメールでの提出を認める。ただし、証明書については、必ずpdfファイルであることとし、画像ファイル（jpg, bmp, png等）は受理しない。また、pdf化する際にはその書類全体について行うこととする。
- ② 電子ファイルより提出した書類については、後日、原本を提出すること。

IV. 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

選 抜 名	入学者選抜方法
外国人留学生特別選抜	提出書類の審査，オンラインによる口述試験及び面接の結果を総合して行います。

「注」 建築学専攻の面接について

一般選抜及び外国人留学生特別選抜で「建築計画系」及び「地域防災系」を，志望教育研究分野の第1あるいは第2志望とする者は，面接時に自作の建築設計図面を提示できるように図面の電子ファイルを準備してください。

(2) 試験日程及び試験会場

選 抜 名	選抜方法	日 程
外国人留学生特別選抜	オンラインによる口述試験及び面接	令和7年7月2日(水) 又は 7月3日(木)

「注」 1. 「オンラインによる口述試験及び面接」はZoom（インターネットコミュニケーションソフトウェア）を用いて面接試験を実施しますので，使用可能な環境を準備してください。また，面接の際に連絡が可能なメールアドレスを出願書類に明記してください。なお，面接の詳細については，受験票を送付する際に通知します。

(3) 英語の評定方法について

○全専攻共通事項

英語能力の判定資料としてCEFR換算可能な試験（TOEFL、TOEIC、IELTS）もしくはJICA在外事務所長からの英語能力に関する証明レターを提出してください。

TOEICのスコアについてはTOEIC 公開テスト（TOEIC® Listening & Reading Test）のみを有効とします。団体特別受験制度（IP テスト，カレッジ TOEIC），TOEIC スピーキングテスト／ライティングテスト，TOEIC Bridgeのスコアは評価の対象となりません。出願にあたっては公式認定証（紙、原本）の提出を有効とします。

○機械工学専攻，応用化学専攻

TOEIC 公開テスト（TOEIC® Listening & Reading Test）について願書提出締切り日から起算して2年以内のスコアを有効とします。TOEIC 公開テスト公式認定証を提出しなかった場合，出願書類を提出しても受理しません。

○電気電子工学専攻，電子情報工学専攻，建築学専攻，情報工学専攻

TOEIC 公開テスト（TOEIC® Listening & Reading Test）について願書提出締切り日から起算して2年以内のスコアを有効とします。TOEIC のスコアがないものについては，出願は認めますが英語の評定は0点となります。

V. 合格者の発表

(1) 発表日

選 抜 名	合格発表日
外国人留学生特別選抜	令和7年7月11日(金) 10時頃

(2) 発表方法

三重大学大学院工学研究科・工学部ウェブサイト「合格者受験番号一覧」を掲載するとともに，

合格者に合格通知書を送付します。

三重大学大学院工学研究科・工学部ウェブサイト【<https://www.eng.mie-u.ac.jp/>】

掲載期間：合格発表日から1週間程度

(3) 合格発表に関する注意事項

- ① 電話等による可否の照会には一切応じられません。
- ② ウェブサイトに掲載する「合格者受験番号一覧」は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は郵送による通知で行います。

VI. 入学手続

(1) 入学手続期間：令和7年9月16日（火）～24日（水）

(2) 入学料及び授業料

- ① 入学料：282,000円（予定額）
- ② 授業料：前期分 267,900円（予定額）
（年 額 535,800円）（予定額）

- 「注」
1. 入学手続の詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」でお知らせします。
 2. JICAによる留学生は、出願締切日までにJICAにより三重大学へ支払われる。
 3. 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生からは徴収しない。
 4. 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
 5. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。

VII. 入学資格審査【出願資格⑨より出願する者】

出願資格⑨による出願を希望する者は、以下の手続により事前審査を受けてください。

(1) 申請期間

令和7年5月19日（月）から 5月23日（金）17時まで（必着）

(2) 申請方法

該当する場合は申請期間までに三重大学工学研究科チーム学務担当まで申し出ること。

(3) 結果通知

令和7年6月2日（月）以降

各 選 抜 共 通 事 項

I. 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等がある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者、又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 受験上の配慮の例

<ul style="list-style-type: none"> 試験場への乗用車の入構 車椅子の使用 補聴器の使用 連絡事項の文書による伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 試験室を別室に設定 座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定 試験室を障害者用トイレ近くに設定 試験時間の延長
---	--

(2) 相談の方法

電話又は FAX などによりあらかじめ工学研究科チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書を工学研究科チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身大学関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- ② 出身大学等名・卒業（見込み）年月日

- ③ 志望専攻名
- ④ 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを提出してください。）
- ⑤ 受験及び修学上希望する具体的配慮
- ⑥ 大学等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑦ その他参考となる事項

(3) 相談の時期

令和7年6月2日（月）17時（日本時間）まで（土曜・日曜・祝日を除く）

(4) 問い合わせ先

三重大学工学研究科チーム学務担当

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL：059-231-9469

FAX：059-231-9471

三重大学の取組み

三重大学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のwebサイトをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

II. 個人情報の利用

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が、平成17年4月1日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

III. 不正行為の取扱いについて

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。

- ① 出願時に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を使用したり、口頭試問の際に虚偽の回答をすること等。
- ② カンニング（カンニングペーパー・参考書等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

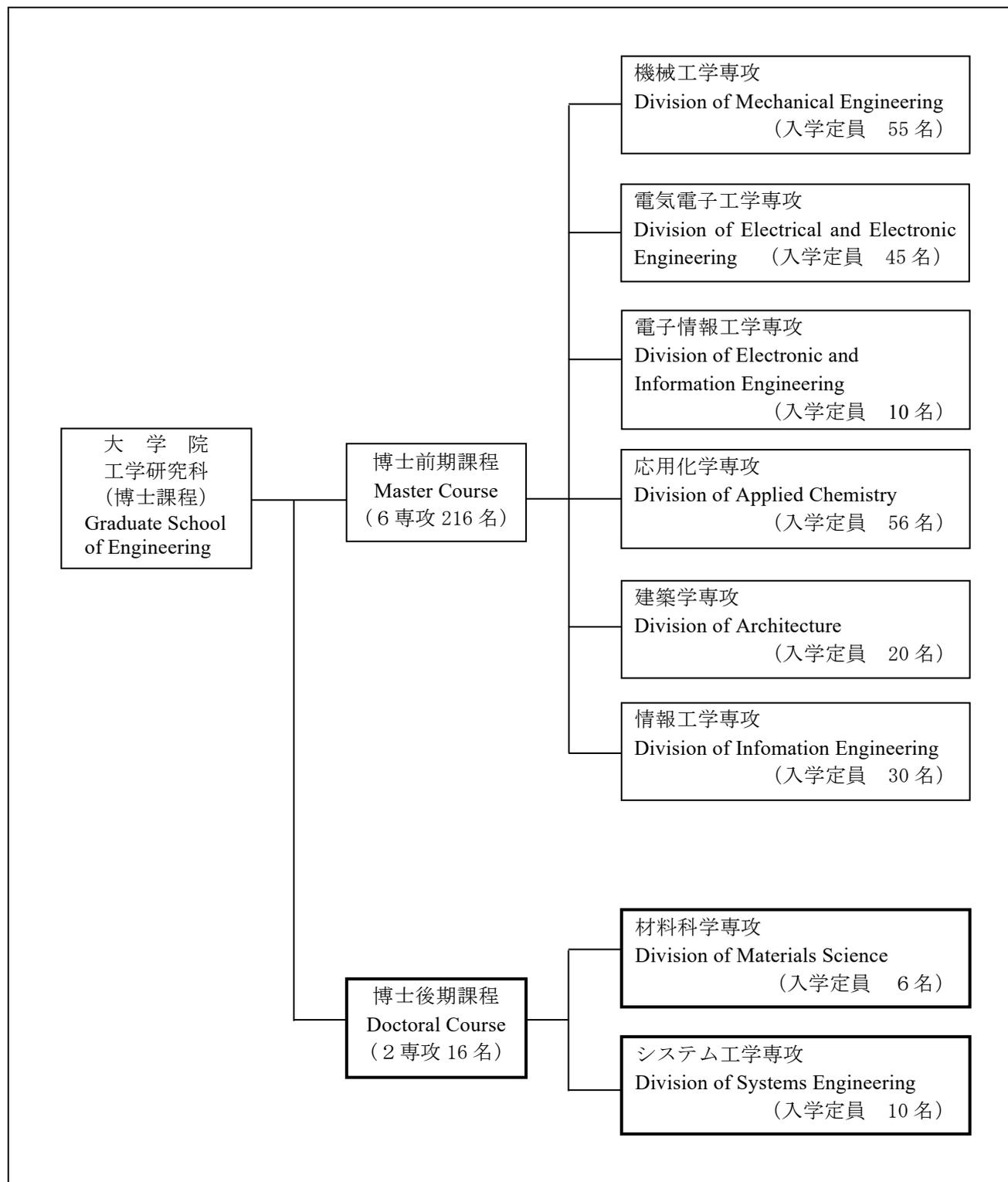
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
 - ④ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑤ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。監督者等の指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具を監督者等の指示に従わず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

【三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要】

三重大学大学院工学研究科は、修業年限2年で修了者に「修士」の学位が授与される博士前期課程と、修業年限3年で修了者に「博士」の学位が授与される博士後期課程から成り、博士前期課程には、機械工学専攻、電気電子工学専攻、電子情報工学専攻、応用化学専攻、建築学専攻、情報工学専攻の6専攻があります。詳細はⅢ. 工学研究科組織図（令和7年度4月1日時点予定）以降をご確認ください。

各専攻の教育研究分野、担当教員等については、「Ⅱ及びⅣ. 各専攻紹介」をご覧ください。

I. 工学研究科組織図（令和7年度4月1日時点）



II. 各専攻の紹介（令和7年度5月1日時点）

【機械工学専攻】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
ロボティクス・メカトロニクス	知能ロボティクス	教授 矢野 賢一 助教 松井 博和	ロボット工学，制御工学，人工知能，情報処理，電子機械学，ヒューマンインターフェース，医療・福祉工学
	人間支援システム	教授 池浦 良淳 准教授 早川 聡一郎	機械力学，人間-機械系，ハイブリッドダイナミカルシステム，制御工学，人間工学，ロボット工学
機能創成プロセス	材料機能設計	准教授 川上 博士 助教 尾崎 仁志	材料の機械的及び化学的諸性質，並びに各種材料の溶接に関する基礎と応用
	集積加工システム	教授 高橋 裕 准教授 中西 栄徳	高機能化加工，環境適合加工，難加工材加工，創質プロセッシング，通電加熱応用材料加工法の開発
	ナノ加工計測	准教授 松井 正仁	フラクタル解析，バイオプロセッシング，ノントラディショナル加工，塑性加工解析
機械物理学	生体システム工学	教授 稲葉 忠司 准教授 吉川 高正 助教 馬場 創太郎	物質及び構造物の強さ・変形及び安定性，CAE，バイオメカニクス
	物理学	准教授 鳥飼 正志	多体系の物理学，自己組織化，相転移，単純液体，液晶
	量子応用工学	教授 小竹 茂夫 助教 河村 貴宏	量子アルゴリズムの制御・振動への応用，力学物性，結晶成長，固体電子論，薄膜作成，物性計測
環境エネルギー	エネルギー環境工学	教授 前田 太佳夫 准教授 鎌田 泰成	流体力学，自然エネルギー利用技術（風力等），エネルギー環境機械及び装置
	熱エネルギーシステム	(教授 丸山 直樹) 准教授 西村 顕	熱工学，伝熱工学，乱流熱・物質輸送，エネルギー変換工学，数値シミュレーション，レーザー計測，環境工学，省エネルギー技術，燃料電池，熱交換器
	流動制御	教授 辻本 公一 准教授 安藤 俊剛 助教 高橋 護	流体熱工学，混相流工学，環境・エネルギー工学，流体・熱・物質輸送現象，実験と数値シミュレーション

【 電気電子工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
電気システム工学	電機システム	教授 駒田 諭 助教 小山 昌人	モーションコントロール（福祉ロボット・人間協働ロボットなど、電動機、電力変換器および各種制御機器に関する制御理論と応用
	制御システム	教授 弓場井 一裕 准教授 矢代 大祐	制御理論（データ駆動型制御設計、ロバスト制御）、モーションコントロール（医療ロボット、ハプティクス、ネットワーク化制御など）
	エネルギーシステム	准教授 山村 直紀	自然エネルギー利用発電システム、省エネルギー電力制御システム、高効率電力変換システム
	誘電・絶縁システム	准教授 青木 裕介	金属接続、導通現象、高分子材料、絶縁特性、コネクタ、複合体材料、有機エレクトロニクス、フォトニクス、有機・無機ハイブリッド材料の機能化
	磁気システム	准教授 藤原 裕司	磁性材料工学、軟磁性薄膜、磁性微粒子、磁気センサ
情報通信・フォトニクス	通信システム工学	教授 森 香津夫 准教授 羽多野 裕之 助教 眞田 耕輔	移動体通信、衛星通信、無線LAN、高度交通システム、アドホックネットワーク
	高周波 メタフォトニクス	教授 村田 博司 准教授 松井 龍之介 助教 大田垣 祐衣	光ファイバ通信、マイクロ波フォトニクス、光導波路デバイス、非線形工学デバイス
	知能情報システム	教授 高瀬 治彦	ソフトウェア工学、教育支援システム、人工知能
	画像情報処理	教授 川中 普晴 助教 北島 巧海	画像処理、情報メディア（文書画像、映像）理解、生体信号処理、機械学習、教育支援システム
量子・光ナノエレクトロニクス	スピントロニクス	教授 中村 浩次	量子応用、材料設計、物理計測、量子計算、計算機シミュレーション
	ナノオプティクス	准教授 元垣内 敦司	表面プラズモン共鳴、メタ表面に関する理論的研究と光デバイス応用
	ナノエレクトロニクス	教授 佐藤 英樹	新規ナノ材料生成プロセス開発、ナノ材料の電子デバイス応用
	量子ビーム テクノロジー	准教授 永井 滋一	新規ナノ材料を原子レベルで”観る”、”創る”、”測る”ための高輝度量子（電子、イオン、光子）ビーム源の開発
	量子回路 テクノロジー	准教授 内海 裕洋	物性基礎論、メゾ・ナノスコピック系の物理、量子コンピューター、電子相関、固体電子論、数理科学

【 電子情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
半導体工学	半導体デバイス	教授 三宅 秀人 教授 中村 孝夫 教授 姚 永昭 教授 新田 州吾 助教 赤池 良太	半導体デバイス, 光デバイス, 電子デバイス, 窒化物半導体, ワイドギャップ半導体, 深紫外LED, 半導体レーザ, 多面光ドットアレイ, 半導体工学, 真空工学
	半導体物理	教授 秋山 亨	半導体表面構造, 量子ドット, ナノ構造, 第一原理計算, 量子論的アプローチ, 計算科学, むれ層表面, ナノワイヤ, シリコンナノ構造
デジタル工学	知能情報システム	准教授 木下 史也 助教 安永 弘樹	光センシング, 光刺激, マイクロLED, 窒化物半導体, GaN, 光遺伝学

【 応用化学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
物理化学	ナノ材料物理化学	教授 伊藤 彰浩 准教授 小塩 明	機能性有機分子材料の電子状態解析ならびにアーク放電, 化学気相成長法などによるナノカーボンやナノシリコン物質等の合成
	有機素材化学	教授 鳥飼 直也 准教授 藤井 義久	高分子物性 (界面・コロイド化学, 薄膜物性, ソフト複合材料)
	量子ナノ機能化学	教授 八尾 浩史 准教授 三谷 昌輝 助教 大西 拓	量子化学計算に基づく化学反応や分子物性などの理論解析
無機分析化学	無機素材化学	教授 石原 篤 (教授 橋本 忠範)	環境とエネルギーの調和, クリーンエネルギー, 環境触媒の開発, ニューガラス, ニューセラミックスの開発
	エネルギー変換化学	教授 今西 誠之 准教授 森 大輔 助教 田港 聡	応用電気化学, 固体化学, エネルギー変換化学及び無機機能材料の開発
	分析環境化学	(教授 金子 聡) 准教授 勝又 英之 助教 榎木 友哉	分析化学 (極微量成分の分離・分析法の開発) と環境化学 (炭酸ガスの還元・固定化, 有害化合物の無害化・無毒化)

有機化学	有機合成化学	教授 八谷 巖 准教授 溝田 功	新しい有機合成反応の精密設計とファインケミカルズ合成への応用
	有機機能化学	教授 岡崎 隆男	新しい機能性有機分子の設計と合成，有機反応中間体の発生と反応
	高分子合成化学	准教授 宇野 貴浩 助教 Hazlina Binti Junoh	高分子の分子設計と構造制御及び機能性高分子材料の開発
生命化学	生体材料化学	教授 宮本 啓一 助教 晝河 政希	生体高分子（蛋白質化学，多糖の化学など），生体ゲル及び医療用高機能材料の開発
	分子生物学	教授 湊元 幹太 准教授 鈴木 勇輝	分子生物学（膜工学，細胞工学，遺伝子工学，核酸工学，抗体工学に基づく機能性タンパク質及び生体システム創成技術の開発）

【 建築学専攻 】

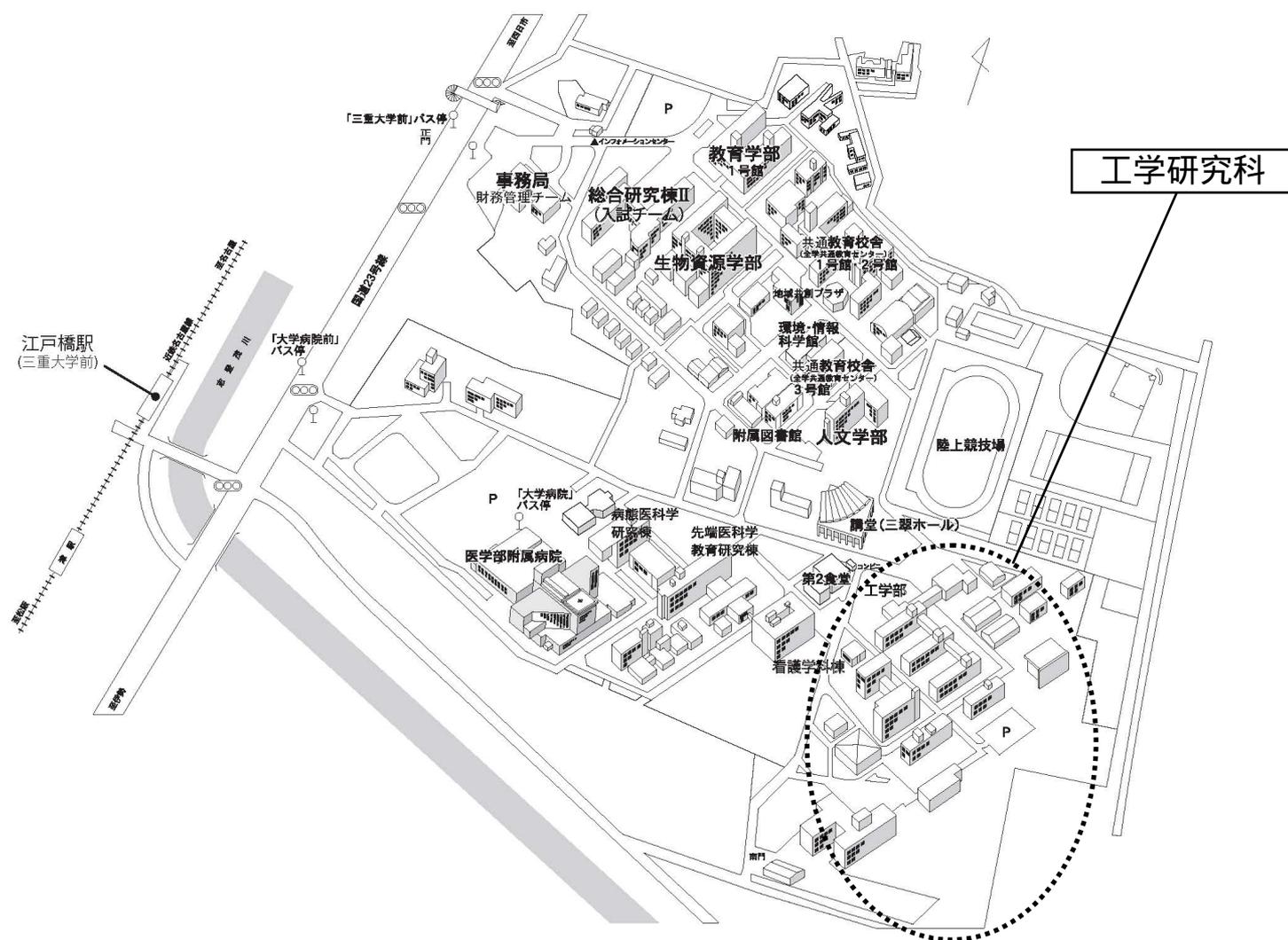
講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
建築学	建築計画系	教授 富岡 義人 教授 三宅 諭 准教授 大月 淳 准教授 近藤 早映 准教授 大井 隆弘	建築計画学（施設計画，施設維持管理など），建築意匠学（設計方法論，建築形態論，構法計画など），建築史学（建築史，保存活用計画など），地域計画学（都市計画，公共空間計画，景観設計など）
	建築環境設備系	教授 永井 久也 教授 寺島 貴根 准教授 北野 博亮	空調設備計画，省エネルギー計画，都市環境，建築音響，建築熱環境解析，自然・未利用エネルギー
	建築構造系	教授 三田 紀行 准教授 田端 千夏子 准教授 佐藤 公亮	建築各種構造（RC造，鋼構造，木質構造など），建築材料，建築施工，建築構法，建築力学
	地域防災系	教授 川口 淳 准教授 Ghezelloo Yegane 助教 孫 文可	地域防災，都市防災，災害復興，耐震技術，災害情報

【 情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
コンピュータサイエンス	コンピュータアーキテクチャ	教授 高木 一義 講師 大野 和彦	集積システム設計，組込みシステム，設計自動化，並列プログラミング，プログラム最適化，ソフトウェア開発支援
	コンピュータソフトウェア	教授 河内 亮周 講師 山田 俊行 助教 仙田 涼摩	理論計算機科学，暗号理論，量子情報科学，ソフトウェア基礎論，プログラムの解析・検証，アルゴリズム
情報ネットワーク工学	情報通信システム	教授 真鍋 哲也 助教 安藤 ダニエル 明	光アクセスネットワーク，センサ情報伝送システム，光経路切替システム，移動無線通信の信号処理，非地上系ネットワークの信号処理
知能システム工学	スマートシステム	教授 野呂 雄一 准教授 森本 尚之	IoT システム，エネルギーマネジメント，デジタル信号処理，音・振動の計測・評価
	データサイエンス	准教授 松岡 真如 講師 奥原 俊	リモートセンシング，地理空間情報解析，三次元データ処理，マルチエージェントシステム，人工知能，意思決定・合意形成
人間情報学	ヒューマンコンピュータインタラクション	教授 若林 哲史 准教授 盛田 健人	文字・パターン認識，医用画像の処理・解析，ヒューマン・インタフェース
	知能化ライフサポート	教授 林田 祐樹 (教授 湯田 恵美) 准教授 小川 将樹 助教 杉浦 友紀	脳神経機能補綴，生理情報計測，ニューロコンピューティング，生体信号処理，生体ビッグデータ解析，医療情報学，XRテクノロジー，視覚心理学，生体情報計測，細胞組織制御システム，埋植用組込み電子デバイス，医工向け集積システム

- 「注」 1. 記載内容は，令和7年5月1日時点のものです。
2. () は兼務担当教員を示します。

三重大学大学院工学研究科案内図



各種問い合わせ先について

問い合わせ時間等：月曜日から金曜日の8時30分から17時まで（祝日は除きます。）

工学研究科の入学試験に関すること 授業科目・学修に関すること	三重大学工学研究科チーム学務担当 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL 059-231-9469 FAX 059-231-9471 E-mail eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9678
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部財務管理チーム TEL 059-231-9028

工学研究科の概要等については、三重大学大学院工学研究科・工学部 web サイトをご覧ください。

工学研究科・工学部 web サイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/>

工学研究科入試情報 web サイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/index.html>